

Point

体験交流型ワイナリーを整備することで、地域農産物のブドウ栽培や地域産業であるワインづくりを通じた山村の活性化を促進する。

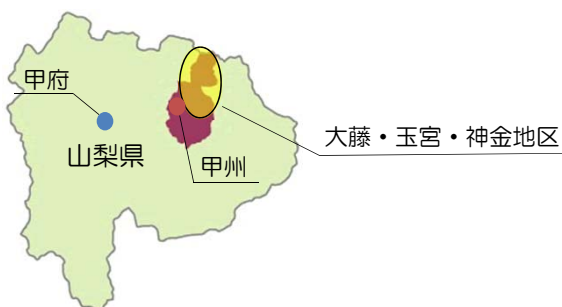
地域の課題

甲州市大藤・玉宮・神金地区は、甲州市の北部に位置しており、日本百名山「大菩薩嶺」から南西に位置している。当地区は、日当たりの良い暖面扇状地にもも・スモモ・ブドウなどの果樹園が広がり高品質な果物を生産している中山間地域である。

当地区では、人口の減少、少子化や高齢化、基幹産業である農業の担い手不足が深刻化している。また、耕作放棄地の増加や形状が不整形である未整備のほ場の営農環境の改善が必要となっている。



位置図



活性化計画

交流人口356人増、地域産物販売額16,043千円増



○農泊施設や農業体験用のほ場、体験交流型ワイナリーの整備を行う。

○ワイン醸造棟・樽庫はワインの醸造機能を有し、体験販売施設はワインや特産品等の販売及びブドウ栽培やワインづくりのセミナー機能等を有し、都市農村交流の拠点となる。

※農泊推進対策（施設整備事業）において、古民家を宿泊・体験交流施設として整備し、また県補助事業において市民農園（農業体験用ほ場）を整備した。

ワインを核としたグリーンツーリズムを展開することで滞在型余暇活動・交流人口の増加を目指す。

さらに、地区の農産物生産量の増大及び農業経営の安定化を図り、地域の活性化を推進。

交付金事業内容

事業期間：H29年から2年間

事業費：172,461千円（国費79,842千円）

事業目標：交流人口の増加（354,184人⇒354,540人）

地域産物販売額の増加（903,036千円⇒919,079千円）

事業主体：98WINEs合同会社

事業内容：醸造棟1棟118.41㎡、樽庫1棟86.128㎡、体験販売施設1棟125.10㎡

